

日ごろ皆さんが市政について感じているご意見やアイデアを市長に手紙で伝える「市長への手紙」。

今年で12回目となるこの市長への手紙に、153人の方から貴重なご意見をいただきました。


今号では、この市長への手紙から主な内容についてご紹介します。




企画広報課
☎ 66♦1145

市民の声を市政につなぐ 第12回市長への手紙から

防災行政無線のスピーカー

 家の近くにある防災行政無線のスピーカーがともも聞きにくいです。

先日あった訓練放送なども、音がわかれて、ほとんど何を言っているのかわかりませんでした。重要な連絡が聞き取れないと、とても困るので至急点検および修理をお願いします。おそらく、丸戸公園にあるスピーカーだと思われます。


 さっそく、担当の職員に現地の防災行政無線の音声を確認させました。かなり聞きづらく不快な思いをさせて申し訳ありませんでした。


設置業者に確認したところ、受信機の不具合とバッテリーの劣化

が原因と判明しました。10月には取り替えを終了する予定ですので、今しばらくお待ちください。

※10月に取り替えを行いました。

ペットの飼い主のマナー

 あちらこちらで犬の散歩をしているところを見かけますが、誰も見ていないとフンを放置したままいく人が多いです。犬の税金を少しでも取るようにしたらどうでしょうか。

 犬のフン害など散歩時のマナーについては、たびたび市民の方からお声をいただいておりますが、その対策には市も苦慮しております。

海外では犬の税金を定めているところもあります。課税による

収入によって、啓発・取り締まりなど行政で行えることもあるかと思われれます。しかし、この問題は飼い主への教育、マナーの向上が大切であり、課税によりそれがなされるとは難しいと考えられます。むやみな課税は、狂犬病予防注射接種率の低下などさらなるモラルの低下が心配されます。

現在、市では広報紙や集合注射時に飼い主マナーの啓発に取り組んでいます。また、原因者がわかっている場合には、愛知県動物保護管理センターから直接指導をしています。より効果的な啓発方法はないか考えながら、今後も動物保護管理センターと協力して、指導・啓発にいつそう努めていきたいと思えます。

- ▶ 修理された丸戸公園のスピーカー
- ▼ 希望者に配布している犬のフンを禁止する看板

